



ポリクリック  
シリーズ

# ザグリカッター 取扱説明書



動画公開中

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

### 警告

- ①作業場は、いつもきれいに保ってください。作業場の周囲状況も考慮してください。雨中や暗所では使用しないでください。また、高所作業での落下防止などの安全措置を行ってください。
- ②使用しない場合は、子どもの手の届かない場所にきちんと保管してください。
- ③無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ④作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では耳栓・イヤーマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑤指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解などは絶対にしないでください。
- ⑥作業中は振り回されないように電動工具を両手で確実に保持してください。
- ⑦高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑧穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- ⑨カッター及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルでけがや火傷をしないように注意してください。
- ⑩製品の着脱時は、電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ⑪ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

### 注意

- ①使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ②電気ドリル・軽量型ハンマードリル(SDSプラス)の回転モード以外で、ご使用にならないでください。ハンマー・振動モードでの使用はカッターの破損原因になります。
- ③カッターが変形しないように注意して取り扱ってください。また、変形したカッターは使用しないでください。

## 本製品について

### 被削材・用途

◎被削材：フローリング材

◎用途：床立上げ用アダプター、ユニット取出し金具取付け時の床面フラット施工に。  
構造用合板、フローリング材へのザグリ加工に。

### 仕様

刃先径：60mm、78mm

シャンク：ポリクリック Sシャンク

ザグリ深さ：5mm

センタードリル：ポリクリック センタードリル



回転モード以外で使用しないでください。

### 対応する貫通穴用カッター

この商品は『ザグリカッターのみ』です。

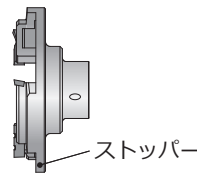
シャンクとセンタードリル及び貫通穴用カッターは、下記を参考に別途ご用意ください。

貫通用カッター品名	刃先径(mm)	有効長(mm)	センタードリル
複合ブリットコアドリル	32、35	50	センタードリルS φ8.0×120mm (品番：PCHCDS)
ガルバウッドコアドリル	32、35	130	センタードリル φ9.3×225mm (品番：PCWSCD225)
ウッディングコアドリル	32、35	130	センタードリル φ9.3×225mm (品番：PCWSCD225)

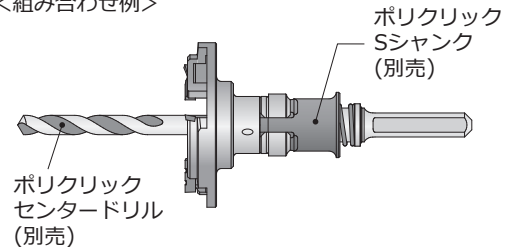
### 各部の名称

＜ザグリカッター＞

＜組み合わせ例＞



ストッパー



ユーザーと共に歩む

株式会社

ミヤナガ

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

URL <http://www.miyana.co.jp>

F A X ☎0120-3875-17

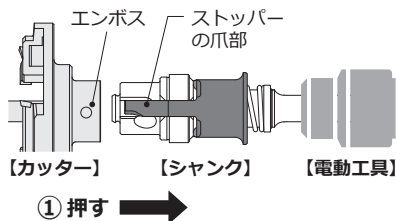
## カッターの交換方法

### ● 取り付け

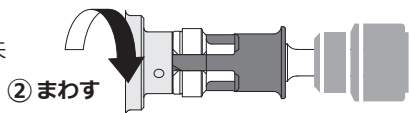
1 電動工具にシャंकを取り付けてください。

2 カッターのエンボス(丸型凸部)をシャंकのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャंक側(矢印①)に押しします。

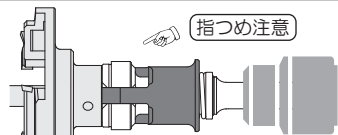
■ カッターとシャंकに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。



3 カッターをシャंक端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢印②)に回してください。



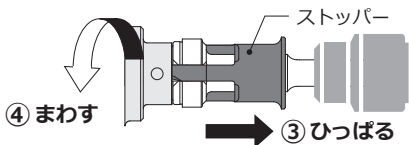
4 カチッと音がして、カッターがシャंकに固定されます。最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。



注 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。

### ● 取り外し

1 シャंकのストッパーを電動工具側(矢印③)に引っ張った状態で、カッターを刃先側から見て左方向(矢印④)に回してください。

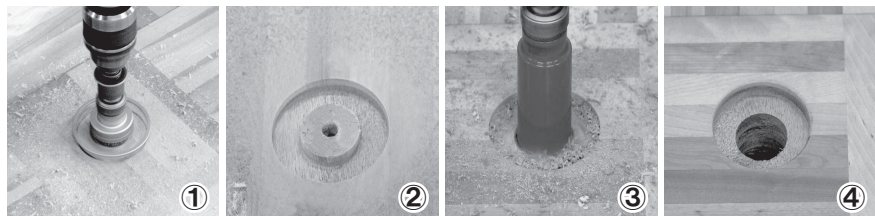


2 ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。カッターがストッパーによって押し出され、取り外せます。



注 ストッパーから手を離すとカッターが飛び出すので注意してください。高所作業時は落下のおそれがありますので、特に注意してください。

## 使用方法



- ① 左記の《カッターの交換方法》に従い、シャंकにザグリカッターを取り付けてください。下記の《センタードリルの着脱方法》に従い、センタードリルを取り付けてください。あけたい穴の中心にセンタードリルを合わせ、穴あけを開始してください。ザグリカッターのストッパーが被削材に当たるまで穿孔してください。
- ② ザグリ完了。
- ③ 貫通穴を穿孔するためのカッターに交換してください。ザグリ作業であけたセンタードリルの穴をガイドにして、貫通穴を穿孔してください。
- ④ 作業完了。

## センタードリルの着脱方法

- ① センタードリルをシャंकに挿入してください。(防塵キャップを装着したままでも挿入可能)
- ② センタードリルを回転させながら押し込むと、シャंक内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合い、センタードリルはさらにシャंकの奥まで入ります。
- ③ センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向(矢印③)に90度回転させて、センタードリルを固定してください。
- ④ 取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜けない事を確認してください。

注 センタードリルのシャंक挿入部にグリスを塗布してください。センタードリルのL型溝の変形が軽減されます。

- ⑤ 取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ります。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)

